

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を
紹介します。 問合せ 農林水産課



③⑤ 埼玉県本庄市

▶平成29年10月10日、
吉田信解 本庄市長(右)
と協定を締結



本庄市の特産品



はにぼんクッキー



どらQ



特選三之助



草木染手織ストール



はにぼん漬け



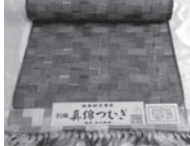
小山川千本桜



はにぼん手ぬぐい



カントリーハーベスト



反物絹真綿つむぎ

- 面積：89.69km²
- 人口：78,442人・34,076世帯（平成30年10月1日現在）

本庄市は、昭和29年7月1日に本庄町と周辺4村が、昭和の合併により「本庄市」となり、平成18年1月10日に旧本庄市と旧児玉郡児玉町の合併により、現在の本庄市となりました。埼玉県の西北に位置し、古くは中山道、鎌倉街道と利根川の河岸など交通の要所として栄え、高速・主要道が縦横に走り、上越新幹線「本庄早稻田駅」など充実した交通網により、東京から80km圏内の首都圏近郊都市として発展を遂げています。

農業は肥沃な農地に恵まれ、ネギ、キュウリ、ナス、タマネギ、ブロッコリー、カリフラワー、大和芋、レタスなどの野菜や、ぶどう、いちご、メロンなどの果樹栽培も盛んで首都圏などに出荷されています。特色ある野菜として、白い部分に光沢があり鮮やかなネギ「本庄美人」など、ブランド野菜の生産も行われています。また、本庄名物の「つみっこ」は、練った小麦粉を「つみとる」の方言からその名が付いた郷土料理で、地元産の新鮮野菜をふんだんに使って作る滋味深い一品です。

本庄市は、「あなたと活かす、みんなで育む、歴史と教育のまち本庄 ～世のため、後のため～」を将来像として、まちづくりを進めています。



- 面積：160.52km²
- 人口：31,590人・11,327世帯（平成30年9月末現在）
- 市の花：きく ●市の木：さくら

南陽市は、昭和42年4月1日、宮内町・赤湯町・和郷村が合併し、市制を施行しました。置賜盆地の北部に位置し、北に丘陵、南に沃野、開湯920年余の伝統ある赤湯温泉や宮内熊野大社など、すぐれた伝統と歴史をもったまちです。

南陽市の特産品は、白竜湖付近の鳥上坂などの急斜面で、太陽をいっぱい浴びたブドウが有名で、そのブドウを使ったワインも特産品のひとつです。明治時代から続く歴史あるワイナリーをはじめ、市内には5社が集積するワインの里となっています。その他にも、サクランボやリンゴ、ラ・フランスなど、果樹王国山形を代表する果物が豊富に実る土地として知られています。手づくり無添加の6次化製品として「ドライフルーツ」も製造されています。

ご当地グルメとしてはラーメンが有名で、県内外の食通をうならせるラーメン屋も多く、南陽市ではプロジェクトとしてラーメン課を設置し、ご当地グルメを推進しております。

南陽市は、定住率及び転入人口の増加を図るため、地域に今ある資源を見直し、時代にあった活力を生み出し、「確かな未来へ 夢はぐくむまち 南陽」を将来像として、まちづくりを進めています。



③⑥ 山形県南陽市

▶平成29年10月12日、
白岩孝夫 南陽市長(右)
と協定を締結



南陽市の特産品



米沢牛



シャインマスカット



りんご



さくらんぼ



薄皮丸なす



おかひじき



ワイン



米



日本酒

【お詫びと訂正】 広報11月号13ページに掲載の島根県雲南市（雲南広域連合）の人口の記載に誤りがありました。お詫びして次の通り訂正します。（誤）32,106人・15,739世帯 → （正）38,707人・13,794世帯